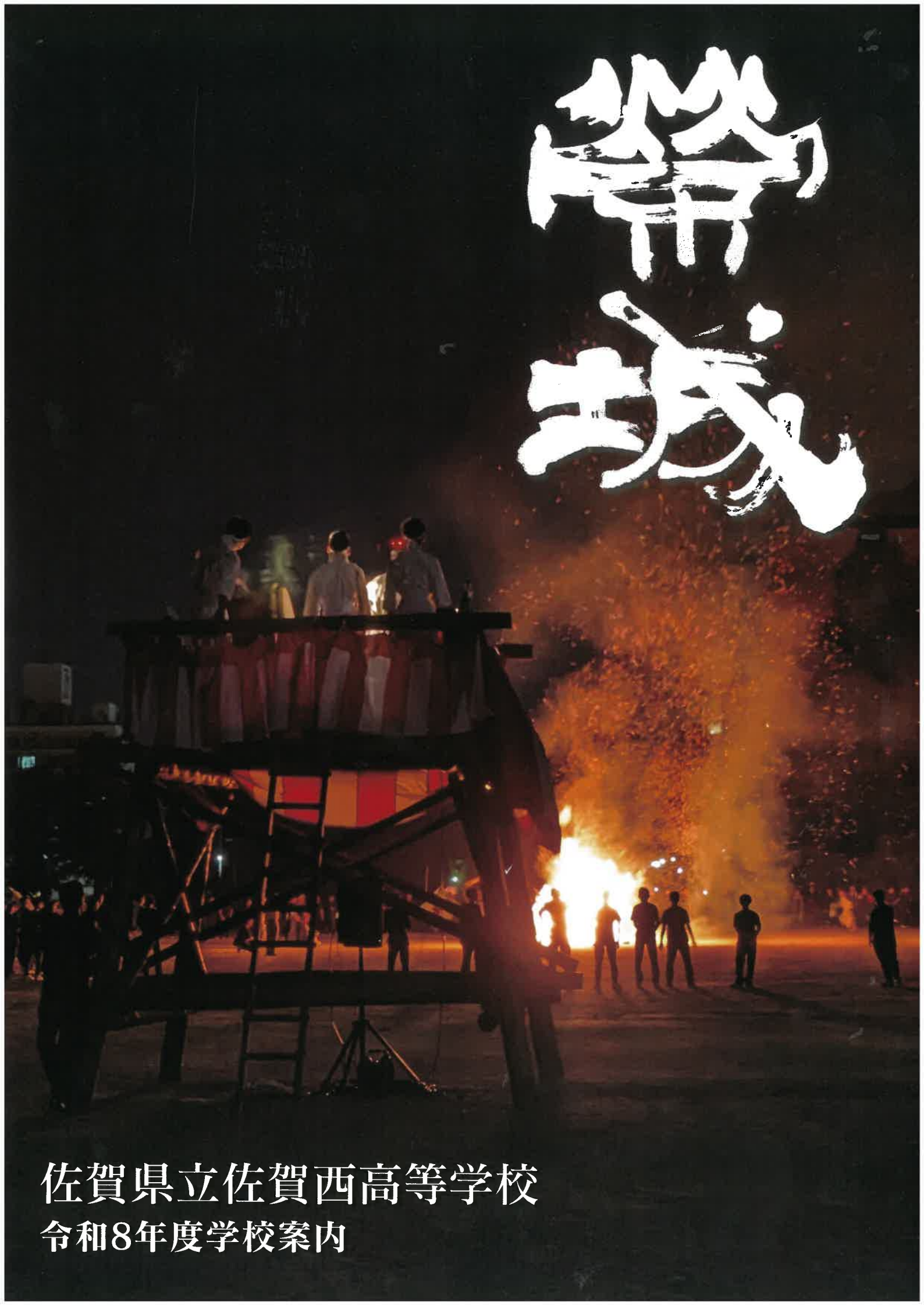


A night festival scene featuring a large bonfire on the right and a float on the left. The float has a red and white striped canopy and a platform where several people are standing. Large, stylized white Japanese characters are superimposed on the dark background in the upper right.

祭
城

佐賀県立佐賀西高等学校
令和8年度学校案内

栄城の軌跡

西高の卒業生に対談をしていただきました。



永尾聡大さん

佐賀市立城北中学校出身
大阪大学法学部卒業
株式会社ベイカレントコンサルティング入社予定

花山院伶奈さん

佐賀市立城南中学校出身
東京大学工学部都市工学科卒業
株式会社大和総研入社



●仕事について

— 現在どのような仕事をしていますか。

花山院 私は、シンクタンクに入社し4月現在は研修中で、今後コンサルティング部に配属予定です。就職活動で様々な業界を見ていく中で、お客様の要望や期待に応えるという形で働きたいと考え、最終的にこの仕事を選びました。現在は経営分野の勉強に取り組んでいます。

永尾 私も花山院さんと少し似ていて経営コンサルティングの会社に入社予定です。というのも、5月入社で4月現在は地中海に浮かぶマルタに1か月滞在しています。入社の準備を進めながら英語の勉強をしたりヨーロッパを観光したりしているところです。変化の激しいビジネス環境の中で自身も成長を続けながら、少しでも多くの人や会社の役に立ちたいという観点からこの仕事を選びました。

●大学時代について

— 大学時代はどのようなことを学んでいましたか。 仕事とのつながりは？

花山院 大学では工学部の都市工学科に所属していました。そこでは、都市空間のデザインや都市計画の立案、さらには交通や防災など、都市に関することを網羅的に学びました。都市工学を学んでいる中で、都市空間をより良いものにするためには、都市デザインや都市計画の内容はもちろん重要ですが、それを実現するための経済面や関係者のマネジメントの重要性も感じました。この学びが、現在の職業を選んだ一つのきっかけになりました。

永尾 大学では法学部に所属していました。もちろん法律も学んでいましたが、自由に授業を取れる学部だったため経済の授業を追加で取ったりしていました。その他にも独学で資格を取ったりプログラミングを勉強したり、時間に余裕がある分、授業以外での学びも大きかったと思います。仕事と法学部のつながりは薄いですが、多くの人や新しいことに関わる中で興味を持った今の仕事を最終的に選びました。

— その他に力を入れて取り組んでいたことはありますか。

花山院 テニスサークルに所属していました。代表チームとして大会に出場するなど、熱心に取り組んでいました。その他に、アルバイトでは様々なものを経験しましたが、特に良い経験だったと感じているのが、コンサルティング会社の長期インターンです。この経験を通じて、自身の専攻分野にとらわれず、異なる業界の職業を知ることができた上に、実際に行われている業務を知って自身が社会人として働くイメージを掴むことができました。将来の働き方に対する視野が広がった重要な経験でした。

永尾 一番の経験は、バスケットボール部での活動です。関西リー

グというハイレベルな環境の中で、自分たちで試行錯誤を重ねながらチームを作り上げていく過程は、大変貴重な経験でした。特に、監督のいない学生主体のチームで主将を務めていたこともあり、時にはその責任の重さに押しつぶされそうになることもありましたが、今ではその経験が大きな財産になっています。また、部活動以外でも、さまざまなアルバイトに挑戦したり、一人で海外に行ったりと、積極的に新しいことや「面白い」と感じたことにチャレンジすることを意識して過ごしてきました。

●高校時代について

— 高校生活で頑張っていたこと・力を入れていたことを教えてください。

花山院 私は、学業と部活動の両立に必死でした。所属していたテニス部は、練習もハードで大会も多く忙しかったのですが、その分成長できて成果が現れることにやりがいを感じ、夢中になって取り組んでいました。部活動が忙しく勉強時間は多くはなかったため、学業では、授業時間という勉強に当てられる決められた時間の中で、学んだことをどれだけ吸収できるかという戦いをしていました。一度扱った内容を理解できずに放置することは絶対にしないという思いで、授業時間が無駄になることがないように意識していました。

永尾 私も花山院さんと同じで、部活動と学業の両立に努めていました。決して簡単なものではありませんでしたが、西高はそれを実現できる環境が整っていたと思います。部活動にしても学業にしてもみんなが積極的に取り組んでいて、「自分も負けたくない」という気持ちで、お互いに高め合いながら楽しく取り組んでいたのが印象に残っています。学校以外の時間を、自主学習や自主練習のためにどう配分するか、工夫しながら取り組んでいました。

— 高校時代にやっておいてよかったことはありますか。

花山院 勉強と部活動のどちらも手を抜かず懸命に取り組んだことです。それにより、時間を無駄にせず集中して取り組む力や、身体的・精神的な忍耐力が身についたと思います。この高校時代を乗り切った経験があったからこそ、苦しい状況も何とか耐え抜くことができる今の自分がいると思っています。今後の人生においても、自身の成長や、困難を乗り越える力の源泉になるのではないかと思います。

永尾 私も似てしまっていますが、何事にも全力で取り組んできたことです。特に部活動と学業に対してとことん向き合い、目標達成に向けて自分の限界まで打ち込んでいました。目の前のことに全力で取り組んできた、やり遂げたという経験は、今の自信に繋がっており、新たな挑戦をするときにも恐れることなく前向きに取り組んでいると感じています。特に高校時代は特定のことに打ち込む時期だと思うので、高校生の皆さんも何か夢中になれることを見つけてほしいです。

スクールミッション School Mission

旧制佐賀中学校以来の長い伝統を誇る高校として、科学・文化・社会の創造・発展を担い、将来の佐賀・日本・世界を支え、切り拓く多様な人材を育成する。

変化の激しい時代の中で、主体的に生き抜くための社会性や優れた知性、広い視野を獲得する教育を実践する。

グラデュエーション・ポリシー Graduation Policy

「質実剛健」「鍛身養志」を校是とし、品位をもって逞しく生きていくために高い社会性を養います。スクール・ミッションを実現するため、次の5つの力を身に付けます。

①主体的判断力 ②課題発見力・解決力 ③自律力 ④協働力 ⑤キャリア形成力

学 校 生 活 School Life

◆西高生の1日

L time	朝HR	第1限目	第2限目	第3限目	第4限目	昼休み	第5限目	第6限目	清 掃	第7限目	部活動	完全下校
8:10 8:15	8:15 8:30	8:35 9:25	9:35 10:25	10:35 11:25	11:35 12:25	12:25 13:10	13:10 14:00	14:10 15:00	15:00 15:15	15:20 16:10	16:10 18:35	19:00



【L time】

放送で流れてくる様々な種類の英文音声聞き、リスニング力を養います。



【授 業】

言語活動やICTの活用、大学入試を見据えた内容など、質の高い授業が行われています。



【昼休み】

隣接する栄城会館で食事をする生徒も多くいます。



◆標準服制度



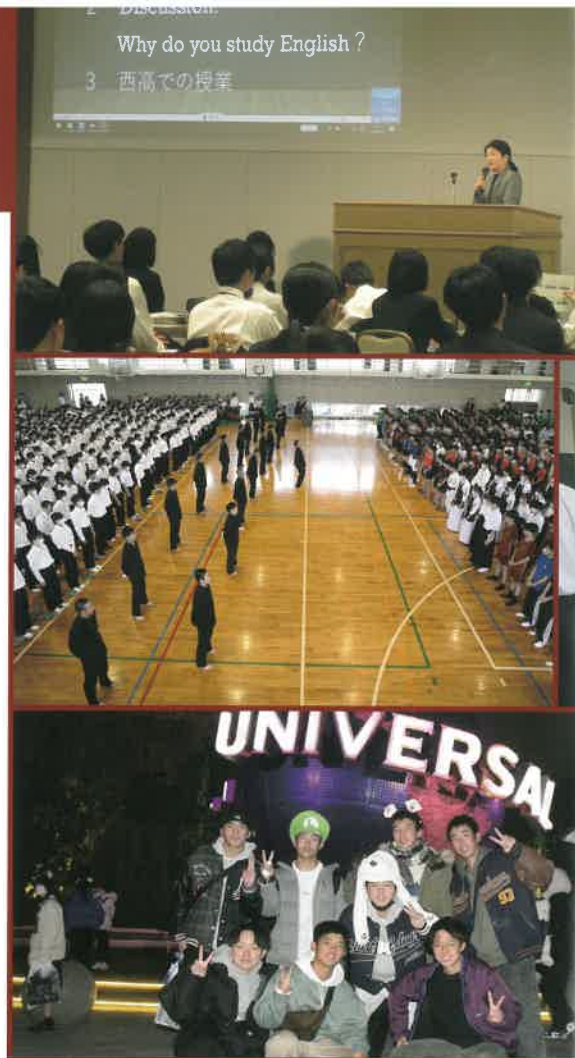
「標準服制度」とは、式典等では学校の定める「標準服」の着用を義務づけ、平常時は私服での登校を認める（「標準服」での登校も可）制度です。服装については、TPOに応じて生徒が主体的に判断します。

西高生の1年

Event Calendar

- 4月** ● 始業式
入学式
1年宿泊研修
2,3年一日旅行
- 5月** ● 開校記念日
- 6月** ● 県高校総体
校内弁論大会
期末考査
- 7月** ● クラスマッチ
終業式
夏季前期補習
- 8月** ● 夏季前期補習
体験入学
夏季後期補習
- 9月** ● 始業式
西高祭前夜祭
文化祭
体育祭
城内クリーンアップ

- 10月** ● 中間考査
芸術鑑賞会
- 11月** ● 学校開放一斉授業参観
校内読書会
期末考査
- 12月** ● クラスマッチ
2年修学旅行
終業式
冬季補習
- 1月** ● 冬季補習
始業式
新春百人一首カルタ大会
大学入試共通テスト
- 2月** ● 学年末考査
国公立大学前期試験
- 3月** ● 卒業式
高校入試
国公立大学後期試験
クラスマッチ
修了式





Club Activity

部活動

文化部

- 茶道
- 演劇
- 美術
- 合唱
- 吹奏楽
- 書道
- 放送
- 社会研究
- ESS
- サイエンス
- ボランティア(同好会)
- 写真(同好会)
- 百人一首(同好会)

運動部

- 柔道
- 剣道
- 陸上
- 水泳
- 空手道
- 野球
- 卓球
- 弓道
- テニス
- ソフトテニス
- サッカー
- バスケットボール
- バレーボール
- ハンドボール
- バドミントン



バスケットボール部

神代 愛依 (千代田中出身)

佐賀西高校の魅力はおもしろさだと思います。個性豊かで様々な価値観を持った生徒が集まっています。部活動も勉強も本気で取り組んでいます。両立させることは簡単ではないですが、勉強も部活も良い環境の中で刺激を受けながら取り組める楽しさがあります。切磋琢磨し、高め合える仲間と充実した3年間を送ることができます。



サイエンス部(兼)

写真同好会(兼)ボランティア同好会

田代フェアドンスコット海 (佐大附属中出身)

西高には13もの個性的な文化部があります。それぞれの部活は生徒を中心に高いレベルで自立・自律しており、伝統を受け継ぎながらも新たな活動に挑戦しています。それは部員同士が自らの軸を持ちながらも互いに理解し合い、一つの目標に向かって活動できているからです。僕も3つの部を兼部していますが、部の仲間や先生からの理解もあって、全ての部の活動を充実させることができます。

在校生からのメッセージ

Messages from current students

前期生徒会長



荒木 嘉維
(成瀬中出身)

"Be a voice, not an echo." 志高く、心は自由に。西高には、個性を尊び、時代を切り開く力があります。互いに磨き合う日々の中で育まれるのは、知だけでなく、気概と誇り。藩校より続く伝統と精神を胸に、日本、そして世界を見据えるまなざしを西高は今も育んでいます。

1 年



安藤 蓮
(鳥栖中出身)

佐賀西高校の魅力と聞くと勉強を思い浮かべる人が多いかもしれません。しかし、西高の魅力は勉強だけではありません。西高にはユーモアがあり、個性あふれる仲間がいます。高い志を持った仲間たちと高め合いながら、充実した高校生活を送ることができます。

2 年



北島 拓海
(佐大附属中出身)

西高で新たな自分を創造してみないか?! 西高には高い志を持ち、学習・スポーツ・芸術などさまざまな面で輝く仲間がたくさんいます。そんな仲間を追いつき、追い抜こうと切磋琢磨・鍛身養志するプロセスの中で、あなたはきっと新たな自分に出会い、次世代のリーダーとして大きな一歩を踏み出せるはずです。

3 年



才川 陽海
(鍋島中出身)

西高の印象といえば、「勉強」でしょう。私もそう思います。しかし蓋を開けてみると、それを超える魅力が、ここ佐賀西高等学校には沢山あります。特に、下記に記載されているとおり、部活動は文化部・運動部を問わず年々勢いを増しています。ぜひ皆さんも西高生の一員として勉強そして部活に励み、青春を謳歌する西高ライフを送りませんか。

西高生の主な活躍 (令和6年度)

第78回国民スポーツ大会(SAGA2024)

フェンシング競技 少年女子団体(フルーレ) 第6位
ライフル射撃競技 ビーム・ピストル少年女子60発 第6位

第78回国民スポーツ大会(冬季大会)

スキー競技 男子個人 出場
スキー競技 女子個人 出場

2024年度第49回全日本スポーツ射撃競技選手権大会

ビーム・ピストル 女子60発 第7位

令和6年度JOCジュニアオリンピックカップ大会

第35回ISSFジュニアライフル射撃競技選手権大会

ライフル射撃競技 BP60WJ 種目 第3位

第3回九州アルペンスキー選手権大会

女子スラローム 優勝

令和6年度第74回全国高等学校総合体育大会(インターハイ)

スキー大会 男子個人(アルペン大回転・回転) 出場
スキー大会 女子個人(アルペン大回転・回転) 出場

令和6年度第62回佐賀県高等学校総合体育大会

フェンシング競技 女子個人(フルーレ) 第1位 インターハイ出場
空手道競技 男子個人組手 第2位 インターハイ出場
テニス競技 男子団体 第2位 九州大会出場
テニス競技 男子ダブルス 第2位 九州大会出場
テニス競技 女子シングルス 第3位 九州大会出場
剣道競技 男子個人 第8位 九州大会出場
空手道競技 男子団体組手 第2位 九州大会出場
空手道競技 女子個人組手 第3位 九州大会出場

令和6年度佐賀県高校総体陸上競技大会

女子棒高跳 第1位 全国総体北九州地区予選出場
男子400mハードル 第3位 全国総体北九州地区予選出場
男子走高跳 第3位 全国総体北九州地区予選出場
男子棒高跳 第4位 全国総体北九州地区予選出場
女子走幅跳 第4位 全国総体北九州地区予選出場

令和6年度佐賀県高等学校新人体育大会

陸上競技 女子棒高跳 第1位 九州大会出場
陸上競技 男子棒高跳 第1位 九州大会出場
陸上競技 女子走幅跳 第2位 九州大会出場
テニス競技 男子団体 第3位 九州大会出場
卓球競技 女子学校対抗の部 第3位 九州大会出場
女子団体組手(5人制) 第1位 九州大会出場
女子個人組手(A階級) 第1位 九州大会出場
男子個人組手(D階級) 第1位 九州大会出場

令和6年度第79回佐賀県陸上競技選手権大会

女子棒高跳び 第1位 九州選手権大会出場
男子棒高跳び 第3位 九州選手権大会出場

令和6年度第36回佐賀県高等学校総合文化祭

自然科学研究発表会 最優秀賞 全国総文祭出場権獲得
優秀賞 九州大会出場
絵画部門 特選 全国大会出場
絵画部門 特選 九州大会出場
デザイン部門 準特選 九州大会出場
書道部門 特選 全国大会出場
書道部門 特選 九州大会出場
小倉百人一首かるた選手権大会 個人 優勝 九州大会出場
小倉百人一首かるた選手権大会 個人 第7位 九州大会出場
弁論部門 奨励賞 全国総文祭出場権獲得

第9回佐賀県高等学校春季小倉百人一首かるた大会

個人 第8位 全国大会出場

第79回九州合唱コンクール佐賀県大会

金賞 九州大会推薦

第48回佐賀県高校放送コンテスト

アナウンス部門 優秀賞 全国総文祭出場
アナウンス部門 優良賞 九州大会出場
テレビ番組部門 優良賞 九州大会出場
ラジオ番組部門 優秀賞 九州大会出場

第44回全国高校生読書体験記コンクール

優良賞 全国審査進出

第19回佐賀県高等学校将棋選手権大会

女子個人 第1位 全国大会出場
男子個人 第2位 全国大会出場

令和6年度第77回佐賀県児童生徒理科研究発表会

第1・2部会 知事賞 全国総文祭出場
第1・2部会 県議会議長賞 全国総文祭出場
第3・4部会 県議会議長賞 全国総文祭出場

令和6年度九州高等学校生徒理科研究発表大会福岡大会

地学部門 最優秀賞

第76回佐賀県高等学校席書大会

臨書の部 特選 全九州総文祭推薦

第71回NHK杯全国高校放送コンテスト佐賀県大会

朗読部門 優良賞 全国大会出場

京都大学ポスターセッション2024

優秀ポスター賞



京都大学総合人間学部

遠藤 和音

(佐大附属中出身)

佐賀西高校の魅力は、志が高く努力家の仲間と学べること、教育熱心で生徒思いな先生に指導していただけることです。私自身、元から特別勉強にやる気があったわけではありませんが、一生懸命に勉強する同級生が作る空気のおかげで勉学に励むことができ、先生方の熱意あるご指導のおかげで学力を伸ばし、最終的に、塾に通うことなく志望校に合格することができました。



東京大学理科I類

松本 真太郎

(城東中出身)

佐賀西高校は、どんな努力も受け入れられる学校です。勉強はもちろんのこと、部活動に打ち込んでも、音楽を作っても、制服を変えようとしても、その行動を否定したり、揶揄したりする人はいません。この点において、自分の目標に向かって努力しやすい場所であるといえるでしょう。自分次第で、学業成績も、部活動での好成績も、青春も、手に入れることができます。



九州大学医学部医学科

生方 悠真

(佐大附属中出身)

佐賀西高校の魅力は「佐賀県内の面白い人が揃っている」ことです。作曲をして曲をクラスメイトと共有する人、筋トレが好きでバーベルを持ち上げる様子を投稿する人など、学習面は言うまでもなく優れているのに、その上で他の分野でも輝いている人がたくさんいました。私は彼らから刺激をもらい、自分の視野を広げてもらいました。この経験は佐賀西だからこそできたことだと考えています。



九州大学経済学部

角田 夏野

(小城中出身)

西高の魅力は、先生、友達、部活動です。先生方は知識が豊富で、受験に向けての勉強だけでなく教養も身に付きました。同級生には努力をしている人がたくさんいて、自分も自然と勉強を頑張れる環境でした。西高は部活動も盛んです。私はサイエンス部に所属しており、全国大会出場は特に貴重な経験となりました。

The Next Stage

進路

主要大学合格実績

※数字は過去3カ年の合格者数



東京大学 15名



京都大学 11名



九州大学 111名



佐賀大学 155名
(医学科24名)



慶応義塾大学 4名



早稲田大学 33名



同志社大学 41名



立命館大学 78名

早期の進路意識の確立

社会問題研究を通して、
「なりたい自分」を探索するキャリア教育

希望進路に対応した授業の充実

難関大学受験を目指した質の高い授業の実践

きめ細かい個別指導

英語における少人数授業など、
1人ひとりを大事にする学習指導体制

SAGA EIJO

佐賀県立佐賀西高等学校

沿革 | School History

- 1876年(明治 9年) 佐賀変則中学校として開校(藩校弘道館跡に設立)
- 1883年(明治16年) 佐賀県佐賀中学校と改称
- 1895年(明治28年) 現在地に校舎新築移転
- 1901年(明治34年) 佐賀県立佐賀中学校と改称
佐賀県立佐賀高等女学校開校
私立成美女学校開校(のちの私立成美高等女学校)
- 1920年(大正 9年) 私立成美高等女学校を佐賀市に移管、
佐賀市立成美高等女学校と改称
- 1948年(昭和23年) 佐賀中学校を佐賀県立佐賀第一高等学校と改称
佐賀高等女学校を佐賀県立佐賀第二高等学校と改称
成美高等女学校を佐賀市立成美高等学校と改称
- 1949年(昭和24年) 佐賀第一高等学校佐賀第二高等学校成美高等学校の
3校の統合がなり、佐賀高等学校となる
定時制及び通信制を併置する
- 1957年(昭和32年) 佐賀市上多布施町に北校舎を新築し第1学年1,000名を
収容、3学年併せて3,000名の生徒数となる
- 1962年(昭和37年) 佐賀高等学校分離決定
- 1963年(昭和38年) 佐賀西高等学校として分離(定時制併置、通信制は
佐賀北へ移管)1回生定員477名(9学級)
佐賀中学校からの伝統を継承する
- 1973年(昭和48年) 校地内に新校舎建設始まる
- 1996年(平成 8年) 定時制課程を閉じる(卒業生総数2,770人)
- 2007年(平成19年) 生徒昇降口新設、エレベーター及び多目的トイレ設置
- 2010年(平成22年) 管理棟耐震改修工事竣工
- 2016年(平成28年) 創立140周年記念式典を挙げる

本校のあゆみ | History

幕末日本を動かした エネルギーが今に息づく

藩校・弘道館は、佐賀藩主鍋島直正の教育改革により大きく発展し、大隈重信、江藤新平をはじめとした明治の偉人を数多く育てました。明治2年の版籍奉還後、弘道館という名称は無くなりましたが、その伝統は明治9年に開校した佐賀変則中学校へ継承され、現在の佐賀西高校へ引き継がれています。

この間、教育制度のさまざまな改革もあって、学校の構成・規模・校名も変遷を辿っていますが、開校以来、建学の精神は受け継がれ、各界に幾多の有為な人材を輩出してきました。

榮城について | EIJO

江戸時代に完成した佐賀城は、さかの城、榮えの城として、榮城という別名で呼ばれていました。その城内跡地の一角に建てられた本校は、地域の方々にも「榮城 EIJO」と親しみを込めて呼ばれています。



大正丁巳七月
直映

志養身鍛

交通案内

佐賀駅バスセンターからバスで約 15 分
佐賀駅から自転車約 10 分 (徒歩で約 25 分)

佐賀県立佐賀西高等学校

〒840-0041 佐賀市城内一丁目4番25号

TEL0952-24-4331(代) FAX0952-25-7041

URL <https://www.education.saga.jp/hp/saganishikoukou>



※「鍛身養志」…鍋島直映(鍋島家12代当主)筆